

地域包括支援センターの開設から、22 年度末で、まるっと 5 年です。
23 年度は、さらに皆さんの声に耳を傾けたいと考えています。

まず私たちの役割や業務のうち、23 年度に向け、特に地域の皆さんのご意見をお聞きしたいことについて、項目ごとに数行で説明したいと思います。

(☆項目・対象、業務の概要、⇒22 年度に実施したことなどについて)



☆地域包括ネットワーク事業（対象：保健・医療・福祉関係者、民生委員、自治会等）

「各地域包括支援センターの圏域等で、交流会・研修会を通じて、
地域の連携を強化し、地域包括ケア体制の充実を図る」

⇒稲羽コミュニティセンターにて、『社協の生活福祉資金』『認知症高齢者の自動車運転を考える
家族介護者のための支援』などをテーマに、関係機関や地域の方に集まっていただきました。
また、町の公民館などで、町ごとの話し合いをしたこともありました。
また、見守り、声かけ活動を中心とした近隣ケアグループの活動内容などについて、稲羽西・
東福祉センター、稲羽コミュニティセンターにて、近隣ケアグループ員の皆さんと、民生委員
さんや自治会役員の方にも参加していただき、意見交流を行いました。

☆家族介護教室（対象：在宅で高齢者を介護している家族）

「介護者の健康づくりおよび介護者同士の交流を図るため、
適切な介護知識・技術の習得、サービスの適切な利用方法の習得等を内容とした教室を開催する」

⇒稲羽西・東福祉センターにて、認知症の人と家族の会岐阜支部の方にも来ていただき、各務原
市の介護者の皆さんが、日頃思っていることや悩んでいることを、お互いに言ったり、聞いたり
する機会をつくりました。

☆その他

⇒ひとり暮らしや高齢者世帯の方などで、援護が必要な方のお宅を訪問し、状況を把握するよう
に努めました。

今回、この通信と一緒に『“ご意見をお願いします” 用紙』と返信用封筒を同封しております。
どんなことでもかまいませんので、項目ごとに、ご自由に記載の上、ご返送ください。
お手数をおかけして申し訳ありませんが、なにとぞ、よろしく願いいたします。

「もっとあーしろ、こーしろ。アレも載せろ」等、ご意見お待ちしております。

電話 058-371-2226 FAX058-371-8431 （担当 長谷川・西脇・林）